

# 藤友



2018 春号

No. 406



取締役会長 高藤 昌和

## 貯 人

「貯」という言葉は「蓄」たくわえる、ためるということです。お金を貯める「貯金」、生きて行くために絶対必要な水を貯める「貯水池」、以前のエネルギーの源であった石炭を集める「貯炭場」等々に使われる言葉です。

最近テレビでの「ボーナス」の使い道というアンケートで、一番多かったのが、現在の生活のためにも、老後の事を考えて「貯蓄」というのがトップだったそうです。

人は生きて行くために、お金は大切なものであり「貯金」は、絶対に必要なものです。でも、それに勝るとも劣らないほど大切なものは「貯人」です。

貯人とは、人脈のことで、どんな人と接しているのか？どんな人脈を持っているか？人生を大きく左右することになります。

現役の時も勿論大切ですし、老後退職してからの人生にも大きな影響を及ぼします。

昔からよく、三人の何でも相談出来る友人を持ちなさい。それは「お医者さんと弁護士さんと金融の相談の出来る三人の親友だ」と言われました。それも大切な事ですが、それ以外にも経営の事、文化、芸術、スポーツ、教育等々多くの人脈を持つ事が大切です。それは、人生を二倍にも三倍にも楽しく生きて行くことになります。

私の友人で多くの友に囲まれて充実した人生を送った人がいましたが、どうしてそんなに恵まれた人脈を持つ事が出来たのか？と考えました。

その人は、「嘘をつかない」、「卑怯な事はしない」、「弱者を助ける」ことを常に実行し多くの人に慕われていました。

結局、自分を磨く事が良い「貯人」が出来ると思えます。自分を高めて良い人脈をつくりたいと思えます。



## 第72期 定時株主総会

第72期定時株主総会は、平成30年2月23日午後3時から、本社1階のイベントホールで開催しました。定刻高藤社長が議長を務め、開会の挨拶後、議事審議に入り、全議案、原案どおり承認、可決されました。

### 報告事項

第72期(自平成28年12月1日・至平成29年11月30日)  
営業報告書、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等  
変動計算書報告の件

決議事項 第1号議案 第72期剰余金処分案承認の件

以上を以て総会は滞りなく終了いたしました。

弊社は建設業を通して社会にお役に立てる企業めざして一層の努力を致す所存でございます。今後共何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 創立記念・参拝・式典・祝賀会

お陰さまで当社は平成30年2月25日、創立72周年(創業86年)の記念日を迎え、本社、各支店それぞれ記念の行事を催しました。本社では、恒例の戸上神社参拝を社長をはじめ役員、社員一同で行い、創業以来、今日まで当社と関わりのあった多くの方々に感謝をし、改めて敬意を表しました。下関グランドホテルで開催しました式典では、例年の永年勤続者の表彰を行い、永年の労をねぎらい、祝賀会を実施しました。



## 永年勤続表彰

永年勤続表彰、誠におめでとうございます。

今年も平成30年2月26日下関グランドホテルにて、永年勤続者が社長より表彰を受けました。

これからもこれまでの経験を活かし、未来に向けてチャレンジして下さい。



### 勤続30年表彰



管理部 **横山 信之**

入社時には30年後の自分の姿など想像もできませんでしたが、今振り返るとありきたりですが、「あっ」という間の30年でした。

先輩や同僚に恵まれて、随分と成長させていただきました。

定年まであと5年となりましたが、精いっぱい恩返しをさせていただきます。

### 勤続20年表彰



建設部 **松瀬 英克**

この度、永年勤続表彰頂きありがとうございます。20年勤めて来れたのも、諸先輩方の御指導、御鞭撻のおかげであると感謝しております。これからも仕事に励み、御縁を大切に、努力を重ね高藤建設と共に成長していけるよう精進していきたいと思えます。



福岡支店 **千々和 幸輔**

この度は、永年勤続表彰ありがとうございました。

皆様のご指導のおかげで、勤続20年を迎えることが出来ました。

今後も人との絆を大切に、新しい出会いを期待しながら頑張っ参りますので、今後ともご指導よろしくお願い致します。



建設部 **河崎 竜市**

入社以来、数えきれないほどの多くの方々と出会うことができました。

諸先輩方々、協力会社の皆さま、たくさんの人から多くのことを教わり、様々な経験をさせていただきました。これからもご縁を大切に、これから起こる新しい出会いと絆に、仕事に邁進していきたいと思えます。

## 10年表彰



福岡支店 宇佐見 拓也

この度は永年表彰ありがとうございます。早いもので入社して10年を迎えることになりました。これもまた諸先輩方や協力業者の方々、又お施主様に支えられたからこそ迎えられるのだと思います。まだまだ若輩者ではございますが、日々切磋琢磨やっっていく所存です。これからもご指導の程、宜しくお願い致します。



福岡支店 山平 智也

永年勤続表彰を頂き、誠にありがとうございます。  
この10年は、仕事もプライベートも様々な方に出会い、多くのことを教わりました。たくさんの経験が今の自分の糧になり、皆様のお蔭だと感謝しています。これからも、初心を忘れず、気持ちを引き締めて頑張らせて参ります。



大阪支店 森田 将之

あっという間の10年。  
御指導頂いた全ての方へ感謝致します。  
日々勉強、学ぶ姿勢を大切に、今後も業務に努めます。  
勤続表彰ありがとうございました。

## 5年表彰



福岡支店 飯田 歩

この度は永年勤続表彰ありがとうございます。私が勤続5年を迎える事ができたのは、皆様のご指導のおかげだと本当に感謝しております。これからも変わらぬご指導を宜しくお願い致します。



大阪支店 高本 実由紀

永年勤続表彰ありがとうございます。  
勤続5年を迎えられたのも、皆様のご指導のおかげだと感謝しております。  
初心を忘れず気を引き締めて頑張ります。



大阪支店 鶴原 優

この度は永年勤続表彰をありがとうございます。  
あっという間ではありましたが、皆様の支えとご指導のお陰で勤続5年を迎えることができ、深く感謝しております。今後も初心を忘れることなく精進して参りますので、宜しく願いいたします。

## 日本通運苅田マルチロジセンター

- ▽ 発注者 日本通運株式会社 様
- ▽ 設計監理 日通不動産株式会社 様
- ▽ 工期 平成29年9月4日～平成30年2月28日
- ▽ 規模 S造平屋建 延床面積13,797.95㎡
- ▽ 工事場所 福岡県京都郡



### 《完成して一言》

本施設は倉庫内の荷物の滞留時間が短く頻繁に入出庫を繰り返すことができるよう配慮してあります。そして屋根は二重葺き断熱折板、壁材は金属断熱パネルを採用しており、一般倉庫としては断熱性が高く、設備機能も充実した建物となっております。短工期ではありましたが、施主様、設計事務所様ならびに協力業者各位のご協力の元、無事故無災害で完工することができました。ありがとうございました。



【建設部 松瀬】

## アサヒプリテック北九州事業所

- ▽ 発注者 アサヒプリテック 株式会社 様
- ▽ 設計監理 高藤建設株式会社一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成29年8月1日～平成30年2月15日
- ▽ 規模 延床面積  
前処理棟 S造平屋建441㎡ 危険物倉庫 CB造平屋建68.8㎡  
ドラム缶貯留棟 S造平屋建248㎡ テント倉庫 S造平屋建400.1㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



### 《完成して一言》

今回の工事はアサヒプリテック様の焼却施設の更新に伴う先行工事で、同時に前処理棟、テント倉庫、ドラム缶貯留棟、第一危険物倉庫の4棟の倉庫を建設する工事でした。建物は白・シルバーで統一され、シンプルに清潔感ある外観となっています。工事中はお施主様にもご協力頂き、無事故・無災害で終えることができました。アサヒプリテック様の、今後の益々のご発展を、お祈り申し上げます。



【建設部 國本】

## ゼロ災害実現計画説明会／安全衛生研修会



代表取締役 高藤 元太郎

皆さんご安全に

日々、安心安全な職場作りに努力されている皆さんご苦勞様です。私達、建設業を取り巻く環境は、人口減少に伴い、技能労働者の高齢化や若者の就労離れ等、深刻な問題となっています。国も「働き方改革」により労働環境の見直し、現場の週休2日制を実現していく方向となっています。これからは、AIやIoT等の人口知能を上手に活用し、より一層、安全な職場環境作りに取り組みましょう！

“安全に終わりはありません！”

### ゼロ災害実現計画説明会(本社)

本社では例年ゼロ災害実現計画の一環として各工事現場の災害防止協議会の中で『健康と安全と』を配布し安全衛生責任者の方々と意見交換を行っています。

今回は3月27日(火)に北九州宗像中央病院移転新築工事の現場事務所にて実施しました。(右写真)

工事現場は、一つとして同じ条件での工事が無い為安全計画も各工事現場で様々です。

各現場に沿った意見、要望を出していただくことにより、ゼロ災害達成に向けた充実した研修会となっています。中でも年々深刻化する技能労働者不足を懸念する意見が多くです。働き方改革にも目を向け協力業者各位の協力のもと安全快適な職場作りを目指します。



現場事務所にて

【建設部 江木】

### 支店での説明会・研修会

3月28日(水)大阪支店4階会議室にて平成30年度安全衛生研修会を開催致しました。当社の基本方針である「健康と安全と」の説明、繰り返し型の災害事例を説明し災害防止へのポイントを確認しました。設備の不具合、ヒューマンエラー等のミスから起こる事故が大半を占めているという事を再認識し、安全に対してマンネリ化した気持ちをなくすようにこの研修会を機に、今一度安全への意識を高めました。今後も支店、安全衛生協力会と共に無事故・無災害を継続し、3000日の目標に向かって取り組んでいきたいと思ひます。

【大阪支店 古賀】



支店会議室にて

福岡支店は3月23日、会議室で『平成30年度安全衛生研修会』を開催致しました。まず『健康と安全と』の内容にそって、災害事例の対策と注意喚起を行いました。また昨年度から、安全関係書類(送り出し教育・新規入場者教育・KY用紙・作業計画書・グリーンファイル等)の改定した内容についても対応策と各社安全担当者への理解を求めました。



支店会議室にて

特に今回3月に厚労省より報道発表された『墜落抑止器具』安全帯の法改正の内容は、参加者の皆さんとても興味深い様でした。支店でも墜落抑止器具の改定対策を行い、転落墜落災害防止強化へ努め、更なる安全意識改革を呼びかける事としました。

最後に建築部社員より現場での安全への具体的な取り組みを発表しました。「災害はいつあなたの身に振り掛かるかも知れない」を認識して、シュプレヒコールで閉会致しました。

【福岡支店 竹元】

## i-T開発室を開設しました

昨今はあらゆる場面でAI、AR等のIT関係の注目度が高まっています。AIは将棋のプロ棋士対決で大きな話題になりましたが、車の自動運転装置をはじめ、受付案内業務や流通販売のレジ装置など幅広く開発が進んできており、またARは、これまでゲームアプリ向けが主でしたが、今は医療の分野や我々の携わる建設分野にも応用されてきています。

そのARのみならず、今後ますます普及していくであろうIT部門への取り組みは企業が進化していく上で、必須課題になってきています。我が社においても例外ではなく、IT開発に積極的に取り組んで参りたいと思っています。

そこで今回、まず現場の業務や様々な事務処理の効率化を推進するシステムを開発することを目的に平成30年3月1日にi-T開発室を開設しました。この度i-T開発室に配属になりました栗原室長、高良さんが、今取り組んでいる内容について紹介します。



栗原室長

事務処理を効率化するため、下げ振り委員と連携し各部署とコミュニケーションを図り業務を分析し、新たなワークフロー連携を見える化する事に努めています。

また、現場ではスマートデバイスを有効活用できるようなシステム開発に取り組んでいます。今期の目標としては、第1に、今までは紙で保存していたデータを電子化することで、ペーパーレスを推進し、効率的に業務に活用する。第2に、世代交代後も誰もが同じレベルで仕事ができる環境をつくる為に、仕事を見える化し「業務フロー・マニュアル」の作成。第3は、事務作業をシステム化し、現場社員の負担を軽減する。第4は、情報共有のリアルタイム化で業務遂行の確実性を向上する。以上の4項目の目標を掲げました。ITを取り入れることで、皆様の業務をスムーズに、また、より良い環境で仕事に打ち込めるよう、企画、提案、開発をしていきたいと思っています。一步一步手探りではございますが、ご期待に添えるよう精一杯努力して参ります。



高良さん

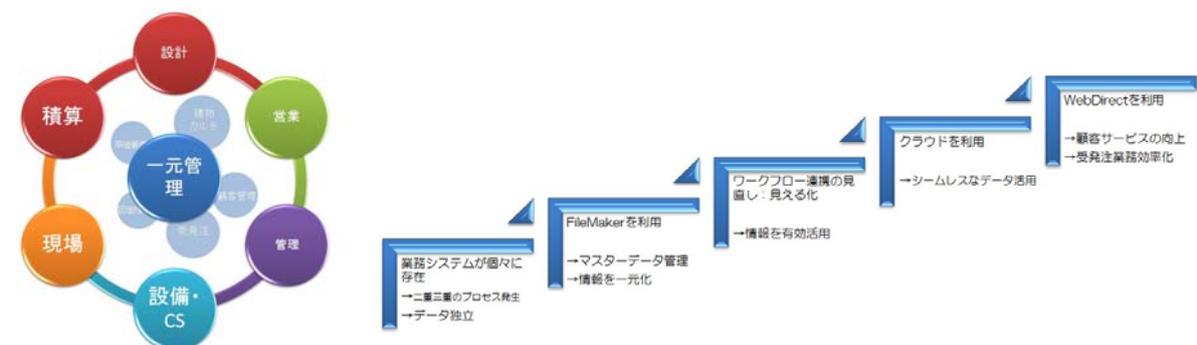
毎日が勉強の日々です。現場での業務やそれを支える業務が少しでもスムーズになるよう、アプリ等の開発・活用に尽力して参りたいと思います。宜しくお願い致します。

【i-T開発室 栗原】

【i-T開発室 高良】



FileMaker	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場で使えるファイルメーカーの開発を普及する業務</li> <li>ファイルメーカー開発者の教育する業務</li> </ul>
tie-up連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>下げ振り委員会とタイアップする業務</li> <li>PQC委員会とタイアップする業務</li> </ul>
AR拡張現実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ARの開発をする業務</li> </ul>
Technology	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他テクノロジー開発を普及する業務</li> </ul>



## 平成30年度入社式

満開の桜が、新人の皆さんを待ちかねるかの様に咲いている今年は、5名の新入社員が、わが社に入社しました。

4月2日の入社式で「わからない事や不安な事があると思いますが、あせらず一歩一歩前進し、将来仕事を通して社会に貢献できる社会人になれる様に頑張ってください」という社長から訓示を受けました。

4月2日から19日まで、社内外の新人研修をスタートさせました。

【管理部 田中】



### 新入社員 これからの抱負



4月から新入社員として多くの事を吸収し、身に付けていきたいと思ひます。また何事にも挑戦していきたいです。ご指導のほどよろしくお願ひします。

建設部 丸田 諒一



3月に大学を卒業して、4月から社会人になります。分からない事ばかりで不安がありますが、一日でも早く会社に貢献できるよう精一杯頑張りますので、ご指導宜しくお願ひします。

福岡支店 藤堂 真志



4月から社会人となり、分からない事ばかりですが、積極的に質問をして知識を増やし、何事にも全力で取り組みたいと思ひます。笑顔で元気に頑張りますので、ご指導宜しくお願ひ致します。

ADD室 坂本 まどか



新入社員として数多くの知識を先輩方や関係者の方から学んでいき、ひとつひとつに全力で取り組んでいこうと思ひます。常に目標を持ち、前向きに頑張っていきたいと思ひますので、ご指導のほど宜しくお願ひします。

建設部 竹元 龍輝



3月に高校を卒業して、社会人としての自覚を持ち尽力していきたいと思ひています。下関中央工業高校の最後の卒業生として、先輩や上司の言葉を自分の成長につなげられるよう努力していきます。ご指導宜しくお願ひします。

建設部 豊永 隼也

## 本けんちく耳より話

昨年ロンドンの24階建て高層マンション火災は死者58人以上、負傷者が多数出る大惨事になりました。マンション全体が火柱になった映像は世界に衝撃を与えました。最近では私たち周辺でも高層マンションが建ち始めています。今回は高層マンションにかかわる防火、避難、消防のお話をしたいと思います。日本のマンションは住戸ごとに防火区画がされています。床、壁を燃えにくい耐火構造にしています。ある住戸が火事になったら、その住戸だけで火が収まるようになっていきます。窓も防火設備(防火戸)とされていて、アルミサッシやガラスにも防火の性能が要求されています。窓から窓へ火が移る(延焼する)ことを防ぐために、間の壁やひさしの寸法にも規定があります。ロン



ドンの火事では外壁側をつたって火が回ったようですが、日本のマンションはバルコニーが付いているものが多く、付いていないビルでも一定の長さの壁や庇がつけられていて、火が移りにくい構造になっています。

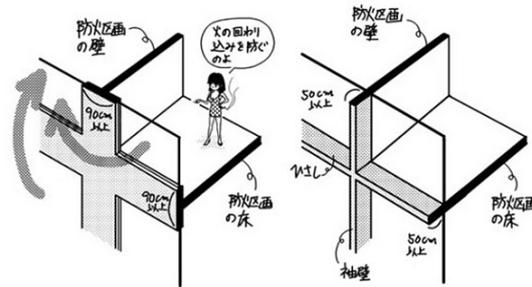
日本の高層ビルで火災が発生した場合、火災報知器が鳴り、階段で避難しなければなりません。エレベーターで避難している最中に電線が焼き切れたら、エレベーター内に閉じ込められてしまいます。火事の建物内に閉じ込められるのは非常に危険なの

で、避難は階段を使わねばなりません。

階段室は堅穴で、煙突となって火事の拡大を助長する恐れがあります。煙が充満する中では避難はできません。ドアは必ず締めて堅穴を防火区画するようになっています。避難経路は「2方向避難」が原則です。火事が左であったら右に逃げられる、右であったら左に逃げられるわけです。

避難上有効なバルコニーがある場合は、階段は一つですむケースもあります。バルコ

ニーの戸境にある板を蹴破って隣へと移動します。そのため戸境の板付近には室外機や植木は置かない事が肝心です。高さ31mを超える階がある場合は、非常用エレベーターの設置が義務



付けられています。非常用エレベーターは予備電源につながれていて、火災で電気が落ちても一定時間は動くようになっています。しかし、非常用エレベーターは消火活動のために消防隊が利用目的です。これらは建築基準法や消防法に規定されていて、確認申請時や検査時に厳しくチェックされます。避難器具は、実際に避難できるかどうかは現場で確認されます。以上のように法律で徹底的に規制された日本の高層マンションは、ロンドンのタワー型マンションのように火柱になるようなことはありません。

しかし避難や消火に手間取ることは十分にありえます。日頃から、避難訓練の実施をすることは大切なことと考えます。



## 春の交通安全運動区民大会

今年も平成30年4月6日門司港西海岸の旧大連航路上屋で開催された春の交通安全運動区民大会に参加しました。これは春の交通安全県民運動初日に、区民にこの運動を広く啓蒙する為に行われましたものです。運動の重点は子供と高齢者の交通事故防止、飲酒運転の撲滅、自転車の安全利用の推進、すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底です。わが社でもこの週間中は毎朝の放送で呼びかけています。

【管理部 田中】



## あれから40年

昭和47年に入社して、早いもので46年が過ぎました。

最初に配属された現場は下関の学校建設でした。そこは長府の山奥で、先輩や仕事の交流があった北海道から来られた業者さん、職人さん達と飯場住まいの生活でした。

昼間は現場で、夜遅くまで施工図書きが毎日つづき、何もわからない私は、先輩や職人さん達からいろんなことを教わりました。

みんな「ワイワイ」言いながら山奥の現場とは思えないくらい賑やかな飯場生活でした。そこで初めて竣工を迎えた時の事は、今でも忘れることができない思い出です。



山口朝鮮学校



当時の西穂高岳にて

数年後、大阪に転勤になり、2現場を経験しました。

大阪では仕事だけではなく現在の趣味である登山と出会いました。

ある時、私が何気なく北アルプスの写真を眺めて軽い気持ちで「行きたいね」と同僚に言うと、「じゃー登ってみる」と答えてくれたので、なけなしの貯金を下して北アルプスの西穂高岳へ行くことになりました。

その時は簡単な考えでGパンとセーターで、十分な装備もなく無謀な初登頂でした。でも、西穂高岳は、傾きかけた太陽の紅く染まった光が、一面の樹氷を照らし、10月も

過ぎようとしているのに満開の桜を見るようで、私は感動でその場に立ちつくしてしまいました。

さらに頂上に立った私の影の周りに虹色の輪が現れる神秘的な現象「ブロッケン現象」まで見ることが出来た時は涙が出そうになるくらい感動しました。

46年経った今でも趣味として登山をしているのは、もう一度、非日常である景色を見たい、という思いが残っているからだと思います。これも、大阪に転勤になり、同僚に出会い、登山をしなければ感じないことだと思います。仕事はもちろん、人との出会いは大事だと思います。



【建設部 吉浦】

その後、昭和54年に本社に戻り現在に至っています。これまで40数件の建設を経験させていただきましたが順調にいった工事より苦しかった工事の方がより記憶に残っています。これからも健康に留意し、感動するような仕事、趣味に頑張りたいと思います。



ブロッケン現象

## 編集後記

表紙の写真は平尾台の野焼き後です。  
草原は、人の手を加えなければ時間と共に森林化してしまいます。枯れた草（古い草）を焼き払うことで、これから芽吹く新芽（若い草）に栄養を与える為です。焼かれた古い草は肥料になります。また、害虫駆除の役割も兼ね、より若い草の成長を助長し、豊かな草原を維持できます。その為、新芽が芽吹く前の冬から春になる前に野焼きが行われます。  
里山の風物詩ですね。  
野焼きの時期になると春がそこまで来ている感じがして、心もなんとなくウキウキします。

### 発行

高藤建設株式会社 高藤元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社